

ル、兎ニ角此ひまはりノ一群ハ其極メテ巨大ナ頭花ヲ有スルひまはりヲ王トシ主品トシテ其他大小コソアレ孰レモガ其花ヲ正面カラ見レバ其姿ガ宛カモ日輪ニ見立テ得ベキガユエニ此屬名ハ此等ノ草ノ一群ニ對シテ誠ニ相應ハシイモノデアルトモ謂ヘル

○ヂオネアラ始メテ具體的ニ我邦人ニ紹介シタ『もしほぐさ』

牧野 富太郎

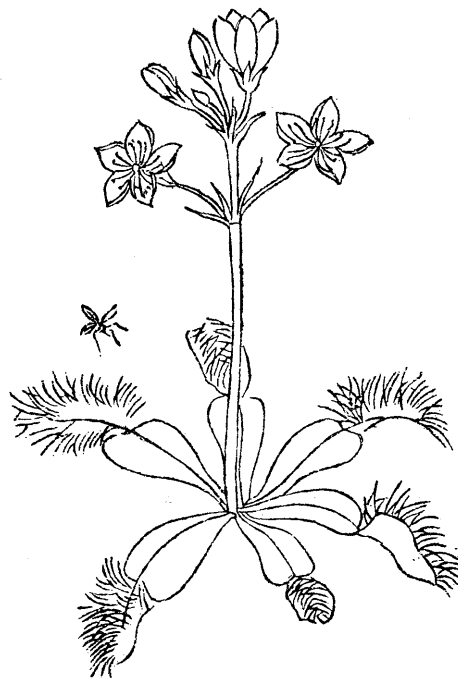
Venus's Fly-trap ト俗稱セラル、天下ニ有名ナ食蟲草ガ北米合衆國北カロリナ東部ノ草原砂地ニ特産スルガ學術上^テハ其名ヲ *Dionaea muscipula* *Ehrh.* ト稱セラレ其天籟ハまうせんごけナドヲ含ムいしもちさう科 (*Droseraceae*) ニ屬シテキルノデアアル、此植物ノ寫眞(日本ニテ其栽培品ヲ撮影シタモノ)ガ本誌第五卷第十號ノ口繪ニ出テヨリ其レニ略説ガ附シテアルガ、其レト同時ニ撮影シタ別ノ寫眞ヲ此處ヘモ出シテ參考ニ供スル、又北米合衆國ノ有名ナ植物學者デアッタ *Asa Gray* 氏ノ著書カラ轉寫シタ寫生圖ガ同ジク第六卷第六號ノ口繪ニ掲ゲテアルカラ其レヲ見レバ能ク其花ノ形狀ナドガ吞ミ込メル

右ノ草ヲ頗ル具體的ニ我邦人ニ始メテ紹介シタノハウエンリートト云フ外國人が横濱デ發行シタ『もしほぐさ』ト云フ新聞(新聞ト云ツテモ今日ノ新聞紙トハマルデ體裁ノ違ツタ)デアッタ、即チ慶應四年(明治元年)戊辰六月四日ニ發行ニナツタ其第十五篇ニ載ツテキルノデ今之レヲ左ニ轉載シ好事ノ士ニ示メスコトニスル

北アメリカ、カロリナ^{名地}のうちに、サンテー、といふ河^{かは}のあたりに生ずるはなはだめづらしき草あり、よく蠅^{はへ}をとろふ、故にその名を蠅取草となづく、その葉^はのうへに長さ毛茸^けあり蠅^{はへ}その毛に觸るときは、ぢさに葉^はを兩方よりふさぎ、はへのうごくあいだはしつかりととぢ、斃^{しにきり}了たるじぶん、そろ／＼そのはをひらき、また他の蠅^{はへ}のとびきたるをまつ、

チオネアラ始メテ具體的ニ我邦人ニ紹介シタ『もしほぐさ』

フリス、フライトレッツ
蠅取草圖

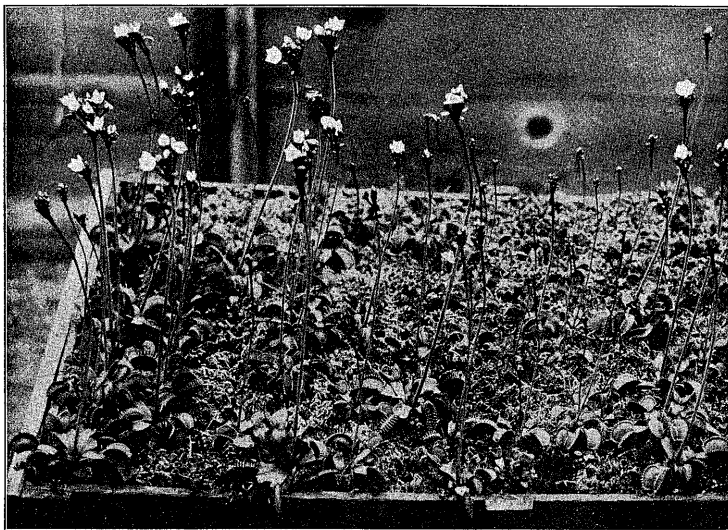


此くさはなはだ異なることとは前條にいふ所の、カロリナ、のサンデー、河あたりならでは決して地球の中他の所に生ずることを見ず

○含羞草はその葉にさはるときはぢきにはをたれくきを歛て感覺あること恰も動物のごとし初て見たる人はなはだめづらしきとおもふべきに前條のはへとりぐさはよく生

物をころして食物とすることも希有の植物なりこのくさについて別に新聞でもなければ今こゝに圖記して兒女に地球の大なること造化の奇なること實にはかりしるべからざることをしらしむ
右ノ通りデアル、圖上ニ蠅取草トシテ和名ガ拵ヘテアルガ之レガ此草ニ對シテ眞ッ最初ニ出來タ邦名デアツテ是レハ誰レガ考ヘテモ無理ノナイ穩當ナ名デアアルカラ今日デモ依然トシテ之レヲ襲用シテヨイ譯デアアルガ其レヲ往々はひとりさうトモ云ツテ居ル、尙別ニ明治ノ初年頃ニ蠅の地獄ノ名モ出來タガ是レモ亦決シテ惡イ名デハナイカラ和名トシテ先ヅ此三ツノ名ヲ併用シテヨイト思フ

ゾオネアラ始メテ具體的ニ我邦人ニ紹介シタ『もしほぐさ』

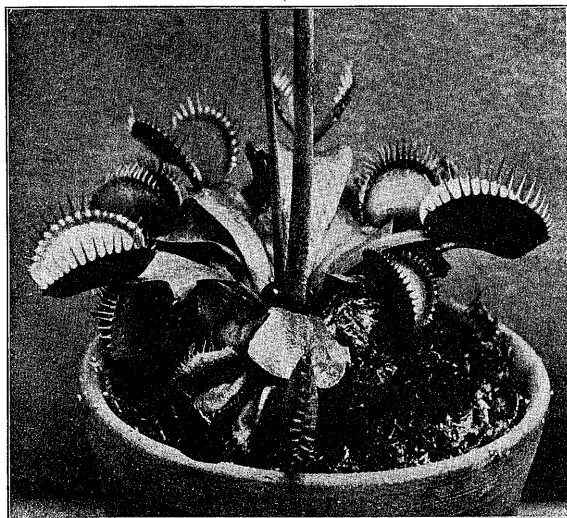


はひとりさう (*Dionaea muscipula* ELLIS.)

武州金澤町富岡鈴木吉五郎君培養

(昭和三年六月十六日清水藤太郎君撮影)

彼ノ有名ナ英國ノダーウイン氏ノ著『食蟲植物篇』ニハ
此植物ニ就テノ詳細ナ記述ガアル、其開イタ葉ノ上ヘ
蠅カ或ハ他ノ昆蟲ガ飛來シテ止マツタ時ハドウシテモ
其葉面ノ中部ニ生ジテキル毛ニ觸レル、其レガ觸レル



はひとりさう (*Dionaea muscipula* ELLIS.)

武州金澤町富岡鈴木吉五郎君培養

(昭和三年六月十六日清水藤太郎君撮影)

ヤ否ヤ直グニ其葉面ハ兩方カラ急ニ閉デテ其昆蟲ヲ包ミ込ミ其蟲ガ死ヌルカ或ハ弱リ果テ、動ケナクナルマデ之レヲ放サナイガ既ニ其蟲ガ死ンデ仕舞ヘバ復ビ自然ニ其葉面ガ開クノデアル、此葉面ニハ葉縁ノ方ハ除イテ短柄ノアル細微ナ腺ガ滿布シテキル、若シモ昆蟲ヲ捕ヘ込ンデ其葉ガ閉デタ時ハ其葉内ハ宛カモ一時假リノ胃ノ様ニナリ其葉面ノ腺カラハ消化液ガ分泌セラレテ蟲體ヲ消化シ更ニ之レヲ吸收シテ以テ我が養分トスルノデアル、畢竟此腺ハ分泌、吸收ノ兩用ヲ兼ネタ働ヲスル力ヲ持ッテキルモノデアル

曾テ私ハ次ノ如ク書イテオイタ、即チ「其屬名 *Dionaea* ハヴィーナス即チ *Venus* (ローマノ神話ニアル戀ト美トヲ司ドル女神ノ名)ノ希臘名、其種名 *muscipula* ハ即チ *Mus-capio* デ鼠捕リ器ノ事デアルガ之ヲ蠅捕リ器ニ轉用シタモノト見エル其レユエ書ニヨッテハ *muscipula*, a *Fly-trap* ト解シタモノガアル、通常此草ノ俗名ヲ *Venus's Fly-trap* (即チヴィーナスノ蠅取り器)ト稱スル」デアッタ、獨逸デハ *Venus die Fliegenfängerin* ト稱シ佛蘭西デハ *L'attrape-mouche* ト呼バレテキル

○斷枝片葉 (其五十三)

牧野富太郎

●黃實ノがまずみ

昨秋東京植物同好會々員ノ久保田禮治君カラ同君ノ郷里相州津久井郡串川村根小^{ネゴ}屋ニテ採集セラレタ黃熟シタ實ヲ着ケタがまずみヲ惠マレタ、其根小屋ニハ人家ノ外ヅレニ唯一本此實ノ生ルモノガ永ク前々カラ在ルトノ事デアル、其果實ハ普通品ノ赤キニ反シテ全然美麗ナ純黃色ヲ呈シタモノデ每果球形ヲ成シテ微シク平扁シ徑凡ソ七「ミリメートル」許モアッタ、此品ハ曾テ米國 *Arnold Arboretum* ノ *Alfred Rehder* 氏ガ之レヲがまずみノ一變種トシテ *Viburnum dilatatum Thunb. var. xanthocarpum Rehder.* ノ學名ヲ *Garden* ト云フ一園藝雜誌デ始メテ發表シ後同氏ノ著 *Manual of Cultivated Trees and Shrubs Hardy in*